

## 町

では、衛生的かつ快適で持続可能な生活環境づくりとして、水洗化を推進しています。

下水道区域の人が下水道に接続すると、風呂やトイレなどの生活排水やし尿は、汚水として下水道管に流れます。その後、下水処理場で浄化され、きれいな水となり、川や海へ流れていきます。日常生活で使った汚水が家の周りの側溝に流れないため、悪臭が無くなり、清潔で快適な生活環境が確保されます。

表1：合併処理浄化槽の整備事業に伴う補助金制度

設置	313,000～548,000円 (人槽区分による)
完全撤去	30,000～45,000円 (条件による)
配管工事	300,000円※

※単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に切り替える時に伴う配管工事費



北半田  
きいち  
稲村 喜一さん

また、浄化槽区域の人で、合併処理浄化槽を設置した場合も、下水道接続と同じ効果が得られ、水環境をよみがえらせる働きがあります。

しかし、工事には多額の費用がかかるため、なかなか手を出せない人も多くいます。そこで、町では、合併処理浄化槽を整備する人へ補助金を交付し、少しでも自己負担が軽減するように支援しています(表1)。

今年、合併処理浄化槽を設置した稲村喜一さんは「最近できた配管工事の補助を活用し、工事費用がほぼ半額で済んだ。洗いや物の時に極力油を流さないなど、川の水をきれいにする取り組みを続けたい」と話します。

## みんなの水をきれいに 快適な住環境と 水質保全を目指して

水は、生活基盤であるのももちろんのこと、漁業や観光などの産業基盤としても、かけがえのない大切なものです。蛍が飛び交う桑折町の豊かな川を、次世代へ守り継ぐためにも、次のことに気を付けましょう。

- ・台所のごみや油は流さない
- ・水洗トイレには溶ける紙を
- ・アルコールやガソリンを流さない

・洗剤は極力無リン洗剤を  
下水道区域内での接続工事や浄化槽区域での合併処理浄化槽設置を検討している人は、左記までご相談ください。

☎ 582-1100  
関上下水道課 業務係

### SDGs宣言のまち

町は福島信用金庫、三井住友海上火災保険と包括連携協定を結び、SDGs推進に向けて取り組んでいます。17の目標のうち、今月は「6：安全な水とトイレを世界中に」に関する内容を紹介しました。まずは身の回りのことから取り組んでみましょう。

6 安全な水とトイレ  
を世界中に

